

日本共産党は反対

軽自動車税が増税に

庶民いじめの増税だ

6月市議会に提案された条例改正について猿渡（えんど）久子市議は6月12日に議案質疑しました。軽自動車税を増税、法人税は減税というもの内容です。「消費税は上がり年金は下がり物の値段は上がる中で、庶民の足である軽自動車を増税とは、国のやり方は庶民いじめ。」と、えんど市議は国の政治を批判しました。

国民の苦勞わかってない

えんど市議の質問に答え「軽自動車税については、27年度から二輪車等の税率を1.5倍に、27年度以降に取得される軽自動車の新車を1.5倍に、その他は1.25倍に引き上げる。28年度からグリーン化を進める観点から最初の新規検査から13年経過した軽自動車については重課を導入。27年度28年度の2年間で2700万円の増収が見込まれる」と説明。

「国が決めたことだが、辛抱して古い車に乗っている人にも増税とは、庶民の暮らしがどれだけ大変か国はわかっていない」と、えんど久子市議。

8億円の法人税が1割減

法人税は27年度より2.6%引き下げ。8500万円の減収で7億2000万円を見込んでいる」と説明しました。別府市の法人税の税収は約8億円です。これが7億2000万円になるという説明です。

えんど久子市議は「減収分は地方交付税に算入される見込みというが、将来にわたってその保証はない。大企業になればなるほど優遇税制でトヨタは5年間税金を1円も払わなくて済んだほど優遇されている。日本共産党は増税するなら大企業・大金持ちに増税をと主張している。格差をさらに広げる国のやり方に怒りを覚える」と述べました。

平野ふみかつ市議は、23日の市議会最終日に反対討論をしました。



別府市議会HPで本会議の録画をご覧ください。日本共産党別府市議団やえんど久子のHPもご覧ください。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
Tel.0977-22-6576

No.613
2014.7.23.

マイナンバー関係予算に反対



個人番号で管理

猿渡（えんど）久子市議は、6月市議会にされていた社会保障・税番号制度いわゆるマイナンバー制度に伴うシステム改修費約1300万円について、6月12日に議案質疑しました。

えんど市議の前に質問した複数の議員に対して市民課長は「国民一人ひとりの年金などの社会保障給付や納税などをひとつの個人番号で管理するもの。複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報である確認を行うためのもの」などと説明しました。

無駄なくと云うが

えんど久子市議はその制度のそもその目的について質問し、「①より公平公正な社会の実現②社会保障がきめやかかつ的確に行われる社会③行

政に過誤や無駄のない社会④国民の利便性の向上⑤国民の権利を守り自己情報をコントロールできる社会」との答弁でした。

プライバシー侵害

しかし、えんど市議はこれに反対を表明「①プライバシーの侵害などを常態化する②初期投資だけで3000億円の巨大プロジェクトにもかかわらず、具体的なメリットも費用対効果も示されていない。③税や社会保障分野での徴税強化や社会保障給付削減の手段にされる、この3点の理由で日本共産党は国会で反対している。共通番号制に

よってアメリカでは成りすまし犯罪が横行し、イギリスではこの制度を廃止した。漏えいが起きた時には番号を変えるとしているが、多くの機関にひろがった番号が一気に変わるわけではなく漏えいの危険は残される」など国会で明らかになった問題点を指摘しました。平野ふみかつ市議が6月23日に反対の討論をしました。